


山行報告書

山行報告提出者：鈴木

山域・山名：甲斐駒ヶ岳（2,967m、山梨県北杜市）	
入山日：2023年7月14-15日（金土） 1泊2日	
プラン担当者 正：鈴木 副：	山頂より鳳凰三山越しに霞む富士山
参加者 L 報記：鈴木 男 1名、女 0名、計 1名	
天候：7/14 曇 7/15 小雨 時々曇り	
7/14（金）	3：30 自宅発-圏央道桶川北本 IC 乗車-中央道須玉 IC 下車 尾白溪谷駐車
7/14（金）	6：40 出発-8：45 笹の平-10：00 刀利天狗-11：00 五合目跡- 12：30 七丈小屋（テント泊）（行動：5h50m）
7/15（土）	4：00 起床-5：00 出発-5：45 御来迎場-6：30 甲斐駒ヶ岳-7：15 御来迎場- 8：00 七丈小屋（テント撤収）-9：45 五合目跡-10：45 刀利天狗- 12：00 笹の平-13：30 尾白溪谷（下山）（行動：8h30m）
荒天候時のエスケープルート：山行中止し引き返す。	
装備と食糧	共同装備：無し 共同食：無し 車提供者：鈴木 個人装備：ヘッドランプ、コンパス、地図、飲料水、帽子、グローブ、スパッツ、ストック、 防寒服、雨具、日焼止、虫除け、テント一式、シュラフ、マット、調理具、 個人食：食料×5、行動非常食
感想	各所から見られる甲斐駒も 10 数年来縁がなく久々の登頂、今回黒戸尾根往復でテント泊の難行を選択した。 7/14 前半は緩斜面を黙々と歩き五合目跡を過ぎ 150mほど下った後は梯子・鎖の急登が連続で体力が消耗した。気温も高くない曇りにもかかわらず汗だくで七丈小屋に着いた。テン場は小屋から 5 分ほど、花崗岩の砂地が平らで寝心地良好と思いきや、少ないテン泊者の一人が轟音発生者で閉口した。 7/15 3時に目を覚ますと雨音がしたため 1 時間出発を遅らせた。小雨の中歩き始め、梯子・鎖の連続を通り過ぎ山頂が見え始めると歩きやすい道となり山頂に着いた。やっと着いた安堵感よりこれから下りる高度差 2, 200mに足が悲鳴をあげないかの不安を強く感じた。鎖・梯子の難路を通り過ぎた後も下りは容赦なく続き、尾白川溪谷の人声が聞こえた時に足がまだ痙攣していないことにほっとした。